



AICHI Orchestra Festival

あいちオーケストラフェスティバル

料金 各公演 500円(全席指定・税込)

座席は間隔をあけて販売いたします

愛知室内オーケストラ

2020 11/5(木)

10/13(火) 発売開始

18:45開演(17:45開場)

愛知県芸術劇場コンサートホール

指揮：山田 和樹

ジュリアン・ユー

オーケストラのための

〈キラキラ星〉による変奏曲より抜粋(世界初演)

ベートーヴェン

交響曲第9番 ニ短調 op.125「合唱付」より 第4楽章 ほか

合唱/東京混声合唱団、びわ湖ホール声楽アンサンブル



©Yoshinori Tsuru



ソプラノ/田崎 尚美 アルト/清水 兼澄
テノール/西村 悟 バリトン/小森 輝彦

〈プレイガイド〉

発券手数料330円無料キャンペーン

【WEB】アイ・チケット アイ・チケットweb 検索 スマホチケットのみ取扱

【窓口・電話】芸文プレイガイド 052-972-0430

(10:00~19:00/土日祝10:00~18:00)※月曜定休(祝日の場合は翌日)

セントラル愛知交響楽団

2020 12/2(水)

11/7(土) 発売開始

18:30開演(17:30開場)

春日井市民会館

指揮：古谷 誠一

チャイコフスキー

組曲「くるみ割り人形」op.71a

ドヴォルザーク

交響曲第9番 ホ短調 op.95「新世界より」ほか



〈プレイガイド〉

発券手数料330円無料キャンペーン

【WEB】アイ・チケット アイ・チケットweb 検索 スマホチケットのみ取扱

(公財)かすがい市民文化財団 <https://www.kasugai-bunka.jp>

【窓口】文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ(休館日を除く 9:30~17:15)

春日井市東部市民センター2階・事務所(9:30~12:00, 13:00~17:00)

【電話】(公財)かすがい市民文化財団 0568-85-6868(9:00~21:30)

中部フィルハーモニー交響楽団

2021 1/31(日)

11/15(日) 発売開始

15:00開演(14:00開場)

幸田町民会館 さくらホール

指揮：栗辻 聡 ヴァイオリン：郷古 廉

メンデルスゾーン

ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64

ベートーヴェン

交響曲第5番 ハ短調 op.67「運命」ほか



©Hisao Suzuki



〈プレイガイド〉

発券手数料330円無料キャンペーン

【WEB】アイ・チケット アイ・チケットweb 検索 スマホチケットのみ取扱

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:188-748)

【窓口・電話】幸田町民会館1Fチケットセンター 0564-63-5181(休館日を除く9:00~22:00)

名古屋フィルハーモニー交響楽団

2021 2/13(土)

12/18(金) 発売開始

16:00開演(15:00開場)

愛知県芸術劇場コンサートホール

指揮：横山 奏

ワーグナー

ジークフリート牧歌

ブラームス

交響曲第2番 ニ長調 op.73 ほか



©平館平



〈プレイガイド〉

発券手数料330円無料キャンペーン

【WEB】アイ・チケット アイ・チケットweb 検索 スマホチケットのみ取扱

【窓口・電話】芸文プレイガイド 052-972-0430

(10:00~19:00/土日祝10:00~18:00)※月曜定休(祝日の場合は翌日)

【主催】文化庁、(公社)日本芸能実演家団体協議会、愛知県芸術劇場、(公財)かすがい市民文化財団(12/2のみ)、幸田町文化振興協会(1/31のみ)

【お問合せ】クラシック名古屋 052-678-5310(11:00~16:00 土日祝休)

※ご来場時にはマスクの着用をお願いします。※未就学児のご入場はお断りいたします。※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等変更になる場合がございます。予めご了承ください。

※本イベントはその一部または全部が録音・録画され、インターネットにより配信される場合があります。あらかじめご了承ください。

山田 和樹 (指揮)

Kazuki Yamada, Conductor

2009年第51回バザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。以来、破竹の勢いで活躍の場を広げている。2016/2017シーズンから、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督、2018/2019シーズンからバーミンガム市交響楽団の首席客演指揮者に就任。日本では、日本フィル正指揮者、読売日響首席客演指揮者を務める他、東京混声合唱団音楽監督兼理事長等としても活動している。これまでに、ドレスデン国立歌劇場管、パリ管、フィルハーモニア管、ベルリン放送響、バーミンガム市響、サンクトペテルブルグ・フィル、チェコ・フィル、など各地の主要オーケストラに客演。東京藝術大学指揮科で小林研一郎・松尾葉子の両氏に師事。メディアへの出演も多く、音楽を広く深く楽しむ姿勢は多くの共感を集めている。ベルリン在住。



愛知室内オーケストラ

Aichi Chamber Orchestra

2002年、愛知県立芸術大学出身の若手演奏家を中心に発足。現在は、国内外で研鑽を積み愛知県ほか東海地方で活躍する演奏家で構成されている。定期演奏会をはじめ、趣向を凝らした親子向けのファミリーコンサート、ワークショップ付きコンサートなどは毎回好評を博している。2015年には新田ユリが常任指揮者に就任。より緻密なアンサンブルの追求とともに、北欧音楽の響きの探求にも力を注ぐ。2016年度名古屋芸術奨励賞受賞。2019年7月、日本-フィンランド外交樹立100周年を記念して、フィンランドのリエクサ・プラスウィークより招聘を受け、リエクサとヘルシンキの2都市でフィンランド公演をおこない成功を収める。



古谷 誠一 (指揮)

Seichi Kotani, Conductor

都立立川高等学校を経て、東京大学卒業。在学中から桐朋学園オーケストラ研究生(指揮専攻)として、指揮を秋山和慶、堤俊作、尾高忠明の各氏に、作曲・ピアノを矢代秋雄、三善晃、末吉保雄の各氏に師事。東京フィル、東京シティフィル、新日フィル、九州交響楽団、関西フィル、N響団友オケ、名古屋フィルなど数多くのオーケストラを指揮。1997年10月にはカーネギーホールにて、オペラ「日本の夜明け」(演奏会形式)をセントルークスオーケストラ・ニューヨークと共演。2003年10月には韓国初のオペラハウスにおいて、オープニングフェスティバル「マダム・パタフライ」を指揮。2005~2006年、ポロニー歌劇場にて研修。現在、名古屋芸術大学名誉教授、セントラル愛知交響楽団正指揮者。



セントラル愛知交響楽団

Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名の後、2009年4月一般社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演をはじめ、年間約100回の公演はいずれも好評を博す。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」受賞、2007年「第2回名古屋音楽バンク賞」受賞。



粟辻 聡 (指揮)

So Awatsuji, Conductor

2015年、第6回ロブロ・フォン・マタッチ国際指揮者コンクールで第2位。京都市立芸術大学、グラーツ芸術大学大学院、チューリッヒ芸術大学大学院をそれぞれ首席で卒業。これまでに、ザグレブ・フィル、マケドニア・フィル、ヤナー・チェク・フィル、ムジークコレギウム・ウィンタートゥール、オタワ・ナショナル・アーツ・センター管、日本フィル、新日本フィル、東京フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、中部フィル、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、大阪響、兵庫芸術文化センター管、山形響、広島響、九州響、奈良フィル、オーケストラ・ジャパン等を指揮している。第28回京都芸術祭音楽部門亀岡市長賞受賞。奈良フィルハーモニー混声合唱団指揮者。京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻非常勤講師。



郷古 廉 (ヴァイオリン)

Sunao Goko, Violin

1993年生まれ。宮城県多賀城市出身。2013年8月ティボール・ヴァルガ シオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝ならびに聴衆賞・現代曲賞を受賞。現在、国内外で最も注目されている若手ヴァイオリニストのひとりである。デビュー以来各地のオーケストラ、ゲルハルト・ボッセ、井上道義、川瀬賢太郎各氏など各指揮者と共演。また2017年より3年かけてベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲を演奏するシリーズにも取り組んだ。これまでに勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、辰巳明子、パヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(Banat)。個人の所有者の厚意により貸与される。2019年第29回出光音楽賞受賞。



中部フィルハーモニー交響楽団

Chubu Philharmonic Orchestra

中部フィルハーモニー交響楽団は2000年に小牧市交響楽団として発足し、2007年に中部フィルハーモニー交響楽団と改名後、中部圏の音楽文化振興を図るため、各地で定期的な公演を行い地域に愛されるプロ交響楽団として活動を行っている。また文化庁巡回公演では10年以上に渡り北海道から沖縄まで日本全国で公演を行っている。現在の芸術監督・首席指揮者は日本を代表する指揮者の一人秋山和慶。2020年4月からは首席客演指揮者に飯森範親を迎え、さらなる飛躍を目指す。受賞歴としては、愛知県芸術文化選奨新人賞等を受賞。2017年12月には「地方自治の発展に寄与した」として愛知県知事より感謝状を授与された。本拠地は愛知県小牧市。



横山 奏 (指揮)

Kanade Yokoyama, Conductor

2018年第18回東京国際音楽コンクール(指揮)にて第2位&聴衆賞を受賞。一躍注目を集め、今後の活躍が大いに期待される若手指揮者である。札幌市出身。北海道教育大学卒業後、桐朋学園にて学び、東京藝術大学大学院を修了。2017年WMC Kerkrade指揮者コンクールにおいて、第3位を受賞。2015年4月より2年間、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の指揮研究員を務める。これまでに都響、読響、新日本フィル、東京シティ・フィル、東京フィル、日本フィル、札幌響、山響、名フィル、大阪フィル、大響、関西フィル、日本センチュリー響など、全国各地で客演を重ねている。これまでに指揮をダグラス・ボストック、尾高忠明、高関健、中村隆夫、黒岩英臣の各氏に師事。



名古屋フィルハーモニー交響楽団

Nagoya Philharmonic Orchestra

1966年7月10日創立。「名フィル」の愛称で親しまれている、中部・東海地方を代表するプロ・オーケストラ。愛知県名古屋市を中心に活動し、革新的なプログラムや充実した演奏内容で広く話題を発信、地域の音楽界をリードし続けている。2016年4月、日本を代表する指揮者である小泉和裕が音楽監督に就任。ほかに現在の指揮者陣には、川瀬賢太郎(正指揮者)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリ・フィッシャー(名誉客演指揮者)が名を連ねている。2020年4月、第3代コンポーザー・イン・レジデンスに坂田直樹が就任。現在は、バラエティに富んだ年間110~120回の演奏会に出演している。



[ご来場の皆様へのお願い] ●マスクを着用の上ご来場ください。手洗い・手指の消毒にご協力ください。●発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。●入場時の検温にご協力ください。●会場内で新型コロナウイルスの感染が疑われる来場者が出た場合、行政機関・保健所の指導のもとに、主催者として、チケット購入者の個人情報収集提供場合があります。●客席内ではマスクを着用し、会話を控え、自席で静かにお過ごしください。●入退場時、トイレ等、会場内での社会的距離の確保をお願いいたします。●ホール内の換気による外気との寒暖差が発生する場合がございますので、服装にご配慮ください。ブランケットの貸出はございません。●「ブラボー」等の掛け声はご遠慮ください。

愛知県芸術劇場主催公演へ
ご来場される皆さまへの
お知らせとお願い
(新型コロナウイルス感染症関連)

